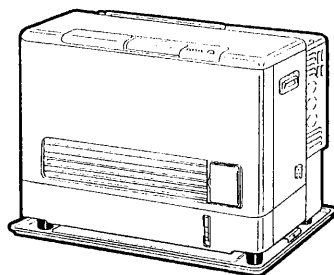
MITSUBISHI

三菱〈密閉式石油ストーブ〉クリーンヒーター

形　名

VKB-601CTD
VKB-451CTD

取扱説明書

お客さま用

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この説明書は保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

三菱クリーンヒーターを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

もくじ

はじめに

このたびは三菱クリーンヒーターをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- お客さまご自身による工事は危険です。据付け工事は必ず専門家にご依頼ください。(畳替えやじゅうたんの張り替えなどでストーブを移動させる場合も同じです。)
- 排ガスは専用の給気・排気部品を使って必ず屋外に出してください。
- 三菱クリーンヒーターは次のような機能をそろえました。あなたのお部屋で活躍させてください。

機　能

おはようタイマー

デジタル式の24時間タイマーでご希望の時刻に室温が設定温度になるよう自動的に点火します。

おやすみタイマー

スイッチ操作1つで1時間・3時間後に自動的に運転を停止します。

スリープ運転

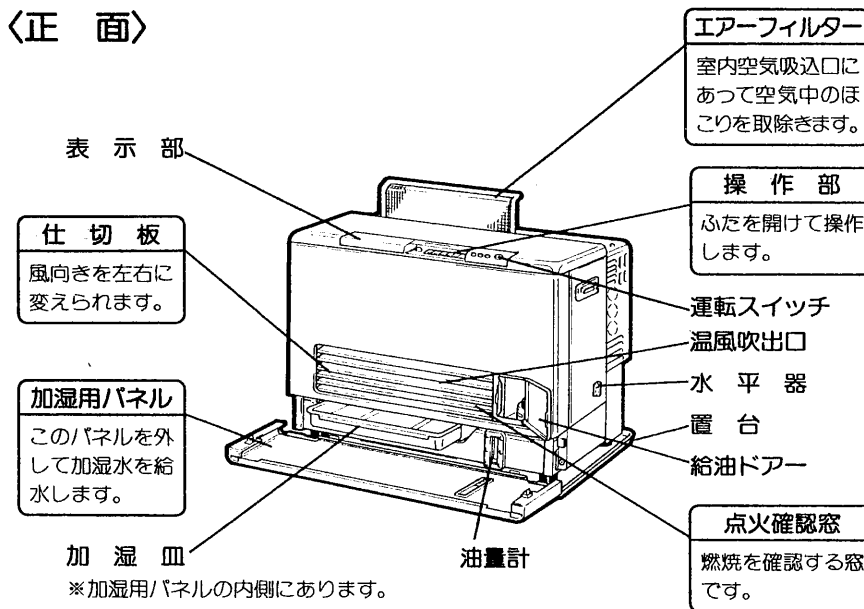
おやすみになられている間もスリープ温度を保ち、ひかえめ暖房運転を行います。

ファジー温感コントロール

「ちょっと寒い」「ちょっと暑い」など人それぞれの微妙な快適感覚にあわせてファジー理論でお部屋の温度をコントロールします。

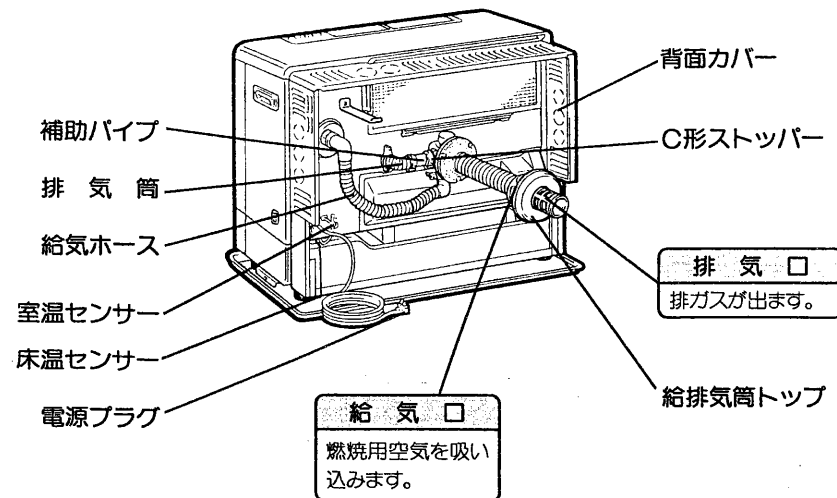
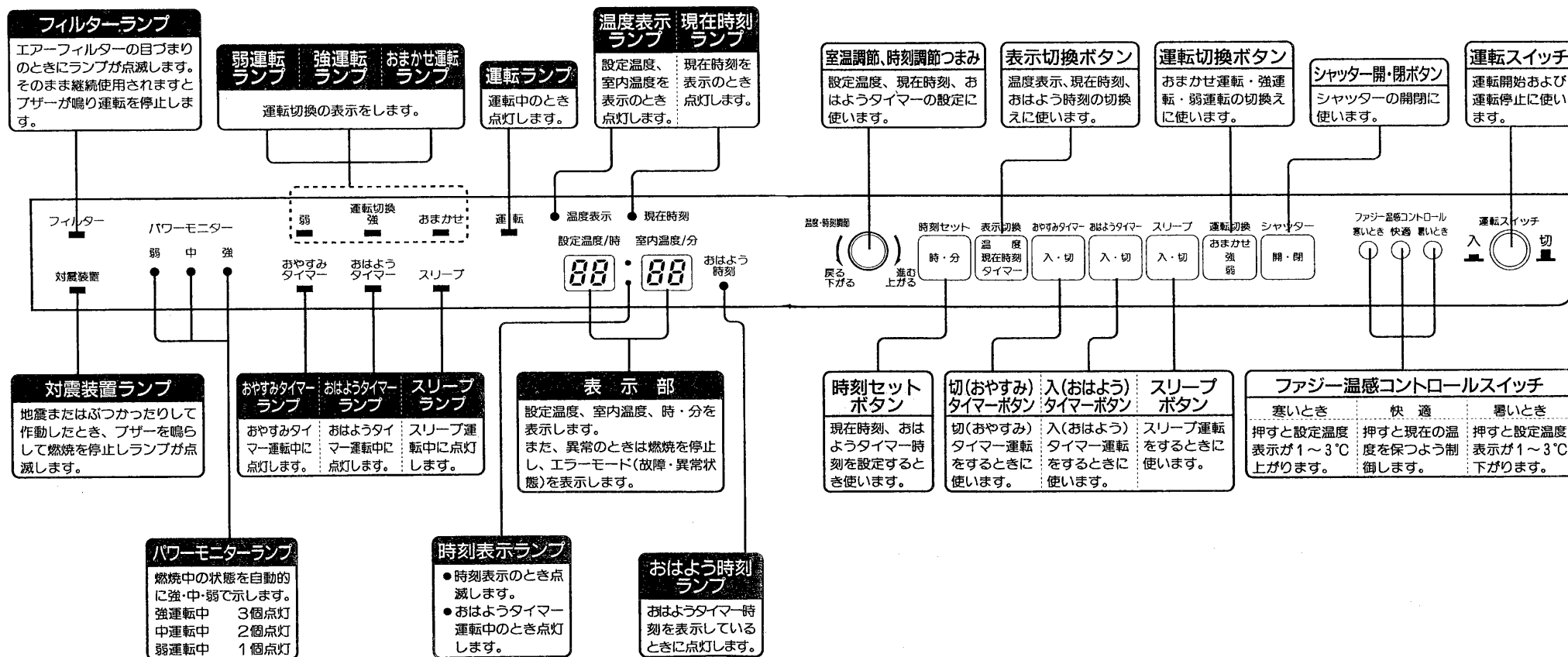
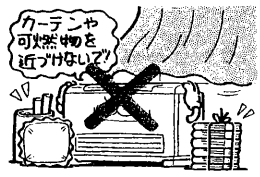
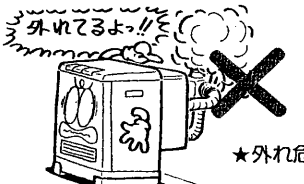
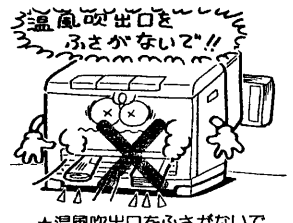
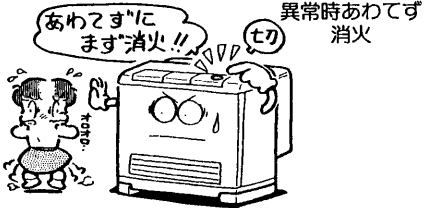
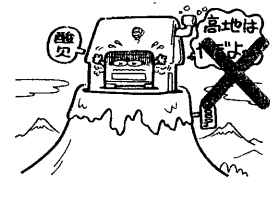
各部の名称

■外観図

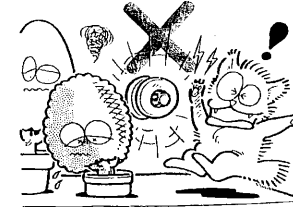
〈正　面〉

〈背　面〉

各部の名称 つづき

表示部

操作部

※シヤッター開閉ボタン以外は、運転スイッチを「入」にしないと操作できません。

特に注意していただきたいこと

ストーブの使用・灯油の取扱いで次の点は特に注意してください。

● 間違った使いかたをしますとストーブが故障したり、排ガスが室内に漏れたり、また火災や、やけどの危険がありますので、次の注意をよく守ってください。

1
★灯油はぬれたままです。　★ガソリンはすぐに乾きます。

灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。ガソリンなど、揮発性の高い油は火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

- 指先につけ、息をふきかけます。
- 確認は火の気のないところで行ってください。

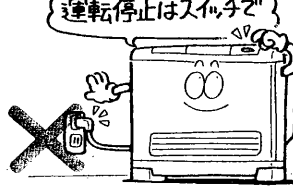
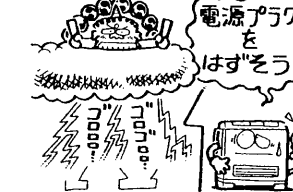
2
★カーテン、可燃物注意

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないでください。また洗たく物の乾燥に使用しないでください。

- 火災の原因になります。またカーテン・洗たく物が変色したりストーブが変形することがあります。

3
給油は、必ず消火してから行ってください。

4
★外れ危険

給排気筒（管、ホース）が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。

5

★温風吹出口をふさがないで

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

- 衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

6

異常時あわてず消火

万一異常を感じたり緊急の場合はあわてずに消火してください。

運転スイッチを「切」にしてください。

使用場所

1

特殊な場所は避ける

ストーブは居室の暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。
また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。

- 化学薬品などの影響により不完全燃焼や故障の原因になります。

2

高地での使用について

標高1500ｍ以上の場所では使用できません。

- 空気不足により不完全燃焼の原因になります。

3
マントルピース内据付けについて

マントルピース内とストーブとの距離を確保してください。

- 詳しくは、同梱の工事説明書で確認してください。

特に注意していただきたいこと つづき

使用上の注意

1

やけどに注意

運転中、温風吹出口は高温になりますので、触らないでください。
特にお子さまをストーブに近づけないでください。
- グリルガード(システム部材)のご使用をおすすめします。

2

危険物は避けて

ストーブや給排気筒トップの周囲には危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの)が絶対にないようにしてください。
- 火災や部品の劣化の原因となります。

スプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。爆発し、危険です。

3

給排気筒トップに注意

- 給排気筒トップは高温です。やけどに注意してください。
- 排ガスが出ますので、愛がん動物・植木なども置かないようにしてください。
  事故がおこったり、木が枯れたりする原因になります。

4

ストーブの上に腰かけたりものをのせないで

- やけどをしたり、ストーブの変形や給排気筒トップが外れ危険です。

5

温風を長時間、直接身体にあてない

- 脱水状態になったり、低温やけどの原因になります。特に、体力のない病人・乳幼児・お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。

運転停止は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切ったりしないで

- ストーブが故障する原因になります。

雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 激しい雷の影響でストーブが故障するおそれがあります。

使用前の準備

燃　料

- 燃料は必ず、(JIS１号灯油)を使用してください。
- 変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは絶対に使用しないでください。
  点火、消火しにくくなったり、燃焼が悪くなって安全装置が作動したり、製品の寿命を縮めます。

▶ 変質灯油とは…

特にポリ容器で日光のあたる場所で保管すると変質しやすくなります。
例えば、このような場合は注意してください。
- 昨シーズンより持ち越した灯油。
- 次のような条件で長期間保管した灯油。
  - ★日光のあたるベランダなどの場所。
  - ★風呂場横などの温度の高いところ。
  - ★容器のふたを開けておいた灯油。

▶ 汚れた灯油とは…

- 灯油以外の油(天ぷら油・機械油・ガソリン・シンナーなど)が、ほんのわずかでも混入した灯油。
  (灯油以外のものを入れた空き缶を使用しないでください。)
- 水やごみが混入した灯油(※ポリ容器にいれて雨ざらしにしておいたり、ふたを開けておいた灯油。)
- 添加物を入れた灯油(添加物・助燃剤などを灯油に混ぜて使用しないでください。)

給　油

1

油タンクは空にしないでください。

● 油量計の表示が「満」の印以上には絶対に入れないでください。

給油の手順と注意

1. 電源プラグを差込み、シャッター開閉ボタンを押してシャッターを開けます。
2. 給油ドアーを開け給油口ふたを外します。
3. 給油口に付いている「ろ網」の上からこぼさないよう灯油を入れます。
4. こぼれた灯油はよくふきとり、給油口ふた、給水ドアーを元通り閉めます。
5. シャッター開閉ボタンを押してシャッターを閉めます。

● 給油するとき、ごみなどが入らないように注意してください。（燃焼不良の原因になります。）
● 油タンクの油量計の表示が「空」になるまで燃焼させるとカチカチ音がして、すすが発生し、故障の原因になります。

運転開始前の準備と確認

1

給水する場合
必ずストーブが冷えてから
行ってください。

加湿皿への給水

①加湿用パネルの両側を持ち手前にひいて外します。
②加湿皿を手前に引出し、水をヤカンなどでこぼさないように静かにいれます。水が加湿皿の上面より１cmぐらい下まで入りましたら、加湿皿を元の位置にゆっくり押込みます。

ご注意！

● 水をこぼしたときは、ぬれたままにしておきますとサビの原因になりますので、きれいにふきとってください。
● 加湿皿へ給水する水は必ず飲料水をご使用ください。
　灯油やガソリンなどは絶対に入れないでください。火災の原因になります。
● 加湿量が不足の場合は別途加湿器をお買い求めください。
● 加湿が不用の場合は給水の必要はありません。

運転開始前の準備と確認 つづき

2

油漏れの確認

ストーブの置台に油漏れがないか確かめてください。
万一、油漏れしている場合は必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

3

給気ホース・排気筒接続の確認

● 給気ホース・排気筒が正しく接続されているか確認してください。
　外れていると運転中に排ガスが漏れ大変危険です。

4

ストーブ周辺の確認

ストーブの周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物を置かないでください。

効果的に使用するために

1

外気に接する窓の下や壁側に設置し、ストーブ前方に障害物がないこと。

（均一にお部屋を暖める）

2

エアーフィルターをこまめに掃除します。

（１週間に１回以上）

基　本　編

クリーンヒーターは運転スイッチを押すだけで設定温度22℃の自動運転をしますので次の手順に従って運転してください。

運転開始

	操作部	表示部	手順
1		おまかせ 運転 ● 温度表示 ● 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 --:--	電源プラグをコンセントに差込みます。
2	運転スイッチ 入 切	おまかせ 運転 温度表示 ● 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 22:10 室温を示す	運転スイッチを押します。

やがて室内温度22℃を基準にファジー制御します。

使用上の注意

- 着火時にボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
- 着火時・消火時にピシッピシッという音がしますが、燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません。
- 室内温度表示は「6」～「32」の範囲で表示されます。ただし、室内温度が6℃未満のときは「L」、32℃を越えるときは「H」が表示されます。
- 停電があった後は表示部に「E-00」が表示されます。21ページの「停電のときには」を参照してください。
- 室内温度表示が設定温度より高いときは燃焼しないことがあります。
- ファジー制御は床面温度と室内温度を検知して、室温を自動的に快適温度に制御します。
このため場合によっては設定温度表示と室内温度表示に最大4℃程度のずれを生じることがあります。

室温の調節(ファジー温感コントロール)

室温の調節には設定温度を上げるまたは下げる方法と、ファジー温感コントロールを使用する方法があります。

■設定温度を変更するには

	操作部	表示部	手順
1	表示切換 温度 現在時刻 タイマー	おまかせ 運転 ● 温度表示 ● 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 22:19 室温を示す	温度表示ランプの点灯を確認します。 点灯させるには表示切換ボタンを押します。 ● 初期設定は22℃です。
2	温度・時刻調節 戻る 下がる 進む 上がる	おまかせ 運転 ● 温度表示 ● 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 24:19 室温を示す	調節ツマミを右に回せば設定温度が上がり、左に回せば下がります。 「8」から「30」の範囲でご希望の温度にセットします。

■ファジー温感コントロール

ファジー温感コントロールは室内温度表示が12℃から30℃の範囲で作動し、運転中暑い、寒い、快適(ちょうどいい)と感じたときにそれぞれスイッチを押します。

	操作部	表示部	手順
寒いと感じたとき	寒いとき	設定温度/時 室内温度/分 24:22	「寒いとき」のスイッチを押します。 ● 設定温度表示が1～3℃上がります。
快適と感じたとき	快適	設定温度/時 室内温度/分 18:18	「快適」のスイッチを押します。 ● 現在の暖かさを保つよう制御します。
暑いと感じたとき	暑いとき	設定温度/時 室内温度/分 20:22	「暑いとき」のスイッチを押します。 ● 設定温度表示が1～3℃下がります。

室温調節時の注意

- 「暑いとき」のスイッチは設定温度が室内温度より1～3℃以上低いとき押しても動作しないことがあります。
- 「寒いとき」のスイッチは設定温度が室内温度より1～3℃以上高いとき押しても動作しないことがあります。
- 室内温度表示が29℃および30℃のとき「寒いとき」のスイッチを押すと設定温度は30℃になります。
- 「快適」のスイッチを押しても室内温度表示と設定温度表示が一致しない場合があります。
- 床暖房と同時に使用されますと、設定温度より2℃低めの室温制御となります。
- 室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室内温度と一致しません。室内温度の目安として参考にしてください。

運転停止

	操作部	表示部	手順
1	運転スイッチ 入 切	現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 21:40	運転スイッチを押します。 運転ランプが消灯し、現在時刻がセットしてあれば表示します。 ● 温風はしばらくすると自動的に止まります。

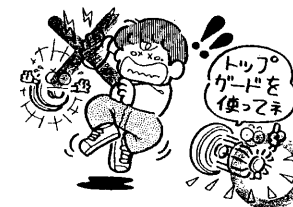
停止するときの注意

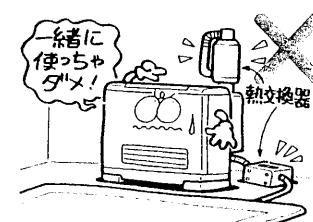
- 長期間留守にするときは、必ず電源を切ってください。
  電源プラグは送風が停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
  ストーブが過熱し故障の原因となります。
- お出かけになるときは必ず消火してください。
  運転スイッチを「切」にしてください。

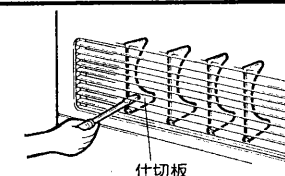
使用上の注意

❶排気筒、給排気筒トップに注意

排気筒、給排気筒トップは高温です。
やけどに注意してください。

- お子さまが排気筒、給排気筒トップのそばへ近づかないよう注意してください。触れる恐れのある場合は当社システム部材のトップガードをご使用ください。

❷ストーブや排気筒には床暖用の熱交換器などを取付けないでください。

- ストーブや排気筒に熱交換器などを取付けると排ガスの水分が結露しやすくなり、結露水が凍結して排気筒をふさぎ、不完全燃焼や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。また、ストーブの寿命を短くする原因にもなります。

風向き調節のしかた

シャッター開閉ボタンを押してシャッターを開けます。
風向きを左右に変えるには、温風吹出口の奥の仕切板を棒状のもの(ドライバーなど)で動かします。

ご注意!

- 運転中は温風吹出口が熱くなりますので、風向きの調節はしないでください。
- 上下の風向き調節は絶対に行わないでください。無理に変えるとたたみ、ジュータンなどが変色したり、故障の原因となります。
- 左右の調節は3～5回が限度です。それ以上動かすと折れるおそれがあります。

応　用　編

時刻合わせのしかた

■14時30分に合わせる場合

	操作部	表示部	手順
1	運転スイッチ 入 切	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 22:10 室温を示す	運転スイッチを押します。（運転中は押す必要がありません。）
2	表示切換 温度 現在時刻 タイマー	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 0:00	表示切換ボタンを押して、現在時刻表示ランプを点灯させます。
3	時刻セット 時・分	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 0:00	時刻セットボタンを押します。「時」の表示が点滅します。
4	温度・時刻調節 戻る 下がる 進む 上がる	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 14:00	調節ツマミを回して「時」を合わせます。 ●0～23時まで表示します。
5	時刻セット 時・分	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 14:00	時刻セットボタンを押します。「時」の表示が点灯となり「分」の表示が点滅します。
6	温度・時刻調節 戻る 下がる 進む 上がる	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 14:30	調節ツマミを回して「分」を合わせます。 ●0～59分まで表示します。
7	時刻セット 時・分	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 14:30	時刻セットボタンを押します。これで現在時刻合わせが完了です。

おはようタイマー運転のしかた

ウォーミングアップ機能付……設定時刻の前から暖房運転を開始するウォーミングアップ機能が付いています。寝る前に「おはようタイマー」にセットしておやすみになると、おめざめのときにはもうお部屋に暖房が行き届いています。

- おはようタイマーは現在時刻がセットされていないと運転できません。
- 燃焼中におはようタイマーをセットしますとその時点で燃焼が停止し、おはようタイマー時刻を表示します。

■6時30分にセットする場合

	操作部	表示部	手順
1	運転スイッチ 入 切	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 22:10	運転スイッチを押します。（運転中は押す必要がありません。）
2	おはようタイマー 入・切	温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 おはようタイマー 5:00 おはよう時刻	おはようタイマーボタンを押します。 おはようタイマーランプが点灯し、表示部に初期設定「5：00」が点灯します。
3	時刻セット 時・分 温度・時刻調節 戻る 下がる 進む 上がる	温度表示 現在時刻 設定温度/時 設定温度/分 6:30 おはよう時刻	おはようタイマー時刻をセットします。 現在時刻合わせと同様に時刻セットボタン・調節ツマミで「時」・「分」をセットします。
4		おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 設定温度/時 室内温度/分 22:10	ウォーミングアップ開始時刻になると、温度表示が点灯し、暖房運転が開始されます。

ウォーミングアップによる運転開始時刻の目安

ウォーミングアップ機能により、設定時刻の30分前の室温に応じて運転開始時刻が変わります。

●運転開始時刻は標準的な部屋で使用した場合、設定時刻に室内温度が15℃前後になるように設定したもので、外気温度や部屋の広さによりこの温度にならない場合もあります。

おはようタイマー時刻30分前の室温	5℃未満	5～15℃未満	15℃以上
燃焼開始時刻	約20分前	約10分前	設定時刻

ウォーミングアップ機能を解除することができます

おはようタイマーボタンを押しておはようタイマーランプを点灯させ、そのままボタンから手を離さないで3秒間押し続けますと再度「ピッ」と音がします。これで室内温度に関係なく設定時刻に運転を開始します。

■おはようタイマーセット後に運転したいとき

●おはようタイマーボタンを押して、おはようタイマー運転を解除させます。運転が再開します。

※その後おはようタイマー運転したいときはおはようタイマーボタンを押しておはようタイマーランプを点灯させます。タイマー時刻が表示されおはようタイマー運転を行います。

■毎日同時刻におはようタイマー運転する場合

タイマー時刻は一度セットすれば記憶されますので、運転中におはようタイマーボタンを押しておはようタイマーランプを点灯させるだけです。タイマー時刻を変更したいときはおはようタイマー運転のしかたに従って行ってください。

■おはようタイマー運転中に表示切換ボタンを押して現在時刻、設定温度の変更及びおはようタイマー時刻の変更もできます。

おはようタイマー運転が解除されるとき

●おはようタイマー時刻(ウォーミングアップ開始時刻)になり運転が始まったとき
●おはようタイマーボタンを再度押したとき
●スリープボタンを押したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

おやすみタイマー運転のしかた

●おやすみタイマー運転は1時間タイマー運転と3時間タイマー運転のどちらかを選択できます。
●おやすみタイマーボタンを押すと「ピッ」と音がします。これで1時間タイマー運転されます。
さらに3秒以上押し続けますと再度「ピッ」と音がします。これで3時間タイマー運転されます。

	操作部	表示部	手順
1	おやすみタイマー 入・切	おやすみタイマー (点灯)	おやすみタイマーボタンを押します。
2		設定温度/時 0 : 室内温度/分 FF	1時間後または3時間後に運転を停止します。

■おやすみタイマーとおはようタイマーを両方セットしたい場合

●現在運転していておやすみタイマーで1時間後または3時間後に自動的に運転停止し、おはようタイマー時刻に運転することができます。
(現在時刻がセットされていないと運転はできません。)
●おはようタイマーで運転開始をして、おやすみタイマーで運転停止することはできません。

	操作部	表示部	手順
1	おやすみタイマー 入・切	おやすみタイマー (点灯)	おやすみタイマーボタンを押します。
2	おはようタイマー 入・切	おはようタイマー (点灯)	おはようタイマーボタンを押します。

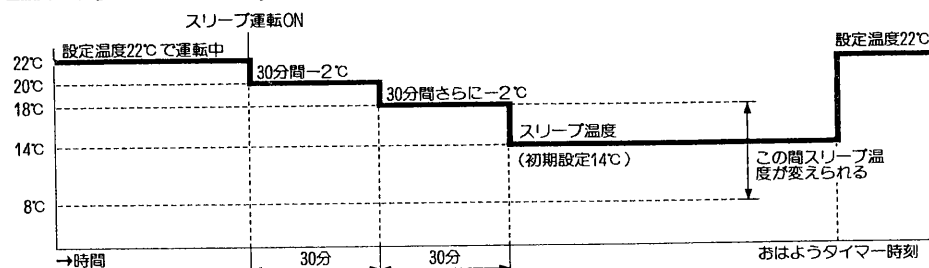
おやすみタイマー運転が解除されるとき

●おやすみタイマーボタンを再度押したとき
●スリープボタンを押したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

スリープ運転のしかた

スリープ運転とは……おやすみの間も適度な室温を保ち、おはようタイマー時刻になるとスリープ運転が自動的に解除されて通常の運転に戻ります。

■スリープ運転モード

設定温度22℃の例

■スリープ運転は現在時刻を設定しなければ運転できません。
■スリープ運転は設定温度が12℃未満ですと運転できません。
■スリープ温度は8℃から設定温度より4℃低い温度まで設定できます。

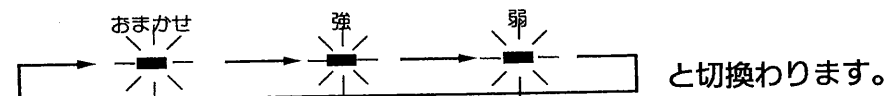
	操作部	表示部	手順
1	スリープ 入・切	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 スリープ 設定温度/時 室内温度/分 14:18 室温を示す	運転中にスリープボタンを押します。スリープランプが点灯し、設定温度表示が変わります。●初期設定14℃です。
2	温度・時刻調節 戻る 下がる 進む 上がる	おまかせ 運転 温度表示 現在時刻 スリープ 設定温度/時 室内温度/分 16:18	スリープ温度を変更することができますので調節ツマミを回して調節します。

スリープ運転が解除されるとき

- おはようタイマー開始時刻がきたとき
- スリープボタンを再度押したとき
- おやすみタイマーを押したとき
- おはようタイマーを押したとき
- 運転スイッチを押して「切」にしたとき

運転切換のしかた

運転モードは運転切換ボタンを押すたびに

と切換わります。

	操作部	表示部	手順
1	運転切換 おまかせ 強 弱	運転切換 弱 強 おまかせ	運転切換ボタンを押してお好みのモードで運転してください。

おまかせ運転の場合

室温調節器感温部がキャッチした情報により「強燃焼〜弱燃焼」および「消火」を組合わせてファジー制御し、燃焼量に応じた風量で暖房を行います。

強運転の場合

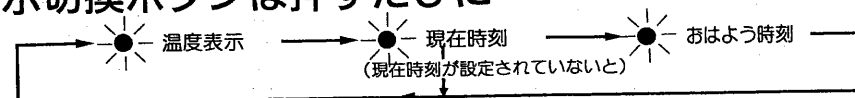
「強運転」と「消火」の組合わせで運転し、燃焼量に応じた風量で暖房を行います。
2部屋続きなど広い部屋で、温風を遠くに届けたいときに使用すると、強風で送風されることが多くなり、室内の温度ムラが少なくなります。

弱運転の場合

おまかせ運転で温風のとぎれ感による肌寒さが感じられる場合に弱運転にすると、とぎれ感は少なくなります。

- 弱運転に切換えると設定温度表示は「30」となります。弱運転では、できるだけ燃焼を止めずに運転を行いますので室温が少し高めになります。
  室温が高すぎるときは、温感コントロールの「暑いとき」スイッチまたは、室温調節ボタンで設定温度を下げてください。

表示切換のしかた

表示切換ボタンは押すたびに

温度表示では……設定温度の変更、スリープ温度の変更ができます。
おはよう時刻では……おはようタイマー時刻の変更ができます。

表示切換ボタンは表示の切換のみでタイマー運転モードは変更されません。

停電のときは

停電があったとき、または電源プラグを抜いたときは、全てのセットは解除されます。通電しても初期設定に戻りますので再度下記の設定を行ってください。

○設定温度　○おはようタイマー運転　○スリープ運転
○現在時刻　○おやすみタイマー運転　○運転モード

再通電後の表示部は

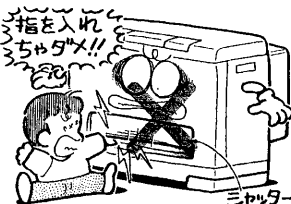
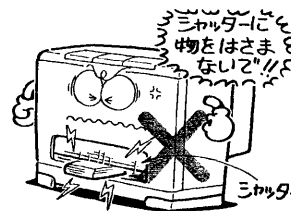
運転中だったとき		停止中だったとき	
E-	00	--	--

シャッターの取扱方法

運転スイッチを「入」にすると自動的にシャッターは開きます。
運転スイッチを「切」にするとしばらくして温風が止まりシャッターが自動的に閉まります。

シャッター開閉ボタンを使うとき…

運転停止中にお手入れなどでシャッターを開閉したいとき使用します。
●シャッター開閉ボタンを押すと「開」、もう一度押すと「閉」に切換わります。

ご注意

1	シャッターで指などをはさまないよう注意してください。
2	シャッターに物をはさんで止めるなど、無理な力を加えないでください。 製品の故障の原因になります。

安全装置

対震自動消火装置

●使用中、強い地震・衝撃を受けたときは、すぐに自動消火し、「対震装置」ランプが点滅してピッピッと音が鳴ります。

過熱防止装置

●使用中、エアーフィルターにほこりがつまり、温風の量が少なくなって、ストーブ内部が過熱しかけると「フィルター」ランプが点滅します。さらに温度が高くなると、過熱防止装置が作動して運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らします。このような場合にはエアーフィルターの清掃(24ページ参照)を行ってください。
〈清掃を行う場合は、運転スイッチを「切」にしてから行ってください。運転スイッチを「切」にしないで清掃を行うとランプの点滅は解除されません。〉

●温風吹出口がふさがれるなど、ストーブ内の温度が高くなった場合には、過熱防止装置(オートカット)が作動し運転を停止します。

点火安全装置・燃焼制御装置

●点火不良、燃焼不良、燃料切れなどのとき、安全装置が働き運転を停止し、ピッピッと音が鳴ります。

停電安全装置

●運転中に停電したときは自動的に運転停止します。

上記の安全装置が作動したときは27ページを参照し、処置してください。

その他の装置

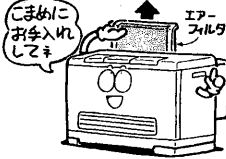
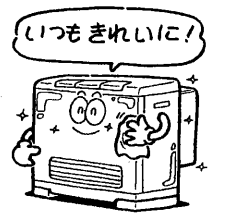
異常過熱防止装置

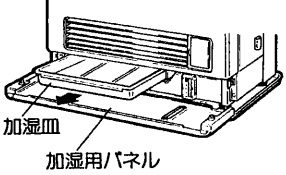
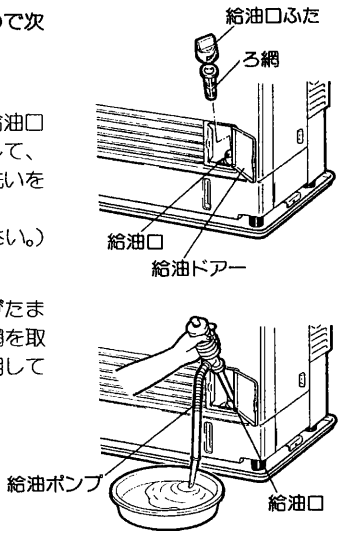
●過熱防止装置が作動せずさらにストーブ内の温度が異常に高くなった場合は、異常過熱防止装置(温度ヒューズ)が作動し、運転を停止します。

異常着火検知装置

●異常に大きな音をたてて着火した場合は、安全装置が働き運転を停止します。

排気筒外れ検知装置

●排気筒の接続部が外れると運転を停止し、表示部の異常表示部モニターがE-09を表示し、ピッピッと5回音を鳴らします。

●上記の「その他の装置」が作動したときは使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして、ストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。
●シャッター開・閉ボタンは運転スイッチが「切」の状態でも「開・閉」を行うことができます。

点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方法
シーズンはじめ	給気ホース 排気筒	エアーフィルターをとり、背面カバー上板を外して、給気ホース・排気筒の接続箇所が外れていないか確認します。
シーズンはじめ	給排気筒トップ	室外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。
使用のたび	排ガス	排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていると一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
使用のたび	油漏れ・油のたまり・油のにじみ	置台に油漏れ、油だまり、油のにじみがないか点検します。
使用のたび	周囲の可燃物・引火物	ストーブの上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。
1週間に1回以上	エアーフィルター	エアーフィルターを右図のように取外し、掃除機などでほこりを取除きます。 ●温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うとストーブ内部にほこりが入ることがあります。
1ヵ月に1回以上	ストーブ外観	ストーブ・置台・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。また、前パネルやシャッターの汚れは中性洗剤などでふいてください。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどをお手入れに使用しないでください。

日常の点検・手入れ つづき

時期	点検・手入れ項目	方法
1シーズンに2~3回	加湿皿	加湿用パネルを開け加湿皿を引き出し、水洗いをします。洗った後は十分水気をとり元通り取付けます。
	油タンク	水やごみがたまりやすいので次のように清掃します。 ●給油口ろ網の清掃 給油口ドアーを開け、給油口ろ網を給油口から取出して、きれいな灯油ですすぎ洗いをします。 (水では洗わないでください。) ●油タンクの水抜き 油タンク内に水やごみがたまったときは、給油口ろ網を取出し、給油ポンプを使用して抜きとります。

定期点検

三菱密閉式石油ストーブ「クリーンヒーター」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2930)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または技術講習会修了者(点検整備士)〕による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店にご相談ください。

★定期点検
定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先
お客さま→お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機サービスセンター

★定期点検費用
定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、故障・部品の劣化が発見され修理または交換が必要と判断された場合は、別途ご相談申し上げます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目	
1	設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり	●送油経路部の油漏れ ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き	●運転動作の点検
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)	
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風吹出口	●油タンクの水抜き

地震などの災害が発生したときの点検について

★地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りの外れ、漏れの確認　●灯油配管からの漏れ確認
★点検で異常がみつかったときや点検したのち使用しているとき排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止して販売店に修理依頼するか、最寄りの三菱電機サービスセンターへ修理依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さまご自身で処置してください。

原因 ＼ 現象		運転ランプが点灯しない	フィルターランプが点滅する	対震装置ランプが点滅する	表示部にE-00を表示する	表示部にE-01を表示する	シャッターが閉じない	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●						電源プラグをコンセントに確実に差込む	11
2	停電があった				●			運転スイッチを押しなおす	11
3	油タンクに油がない					●		給油する	8
4	油タンクに水が入っている					●		油タンクの水抜きをする	25
5	温風吹出口がしゃ閉されている				●			温風吹出口のしゃ閉物を取除く	6
6	エアーフィルターにほこりがつまっている		●					エアーフィルターを清掃する	24
7	対震自動消火装置が作動した			●				P26「地震などの災害が発生したときの点検について」の点検項目を確認し運転スイッチを押しなおす	11
8	給排気筒トップの先端がふさがっている					●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	24
9	シャッターの駆動部に障害物がある						●	障害物を取除きシャッター開閉ボタンを2回押す	21

※シャッターの駆動部に障害物がないのにシャッターが閉じない場合は温風吹出口上方よりシャッターを押し上げ、シャッター開閉ボタンを2回押して閉じてください。

以上の方法で点検し、処置をしてもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

修理をお申しつけのときには故障の内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるエラーモード(故障・異常状態)をご連絡ください。

表示部にこんな表示がでたら販売店までご連絡ください

E-02　E-03　E-04　E-05　E-06　E-07
E-08　E-09　E-13　E-14　E-16

※表示部にE-06の表示が出たら、電源プラグをコンセントに差込みなおしてください。
※表示部にE-13の表示が出たら、給排気筒トップ、給気口、排気口が異物でふさがれていないか確認してください。異物を取除いて運転スイッチを押しなおしてください。
※表示部にE-16の表示が出たら、シャッター部に障害物が当たっていないか確認してください。障害物を取除き、運転スイッチを押しなおしてください。

上記の処置をしてもまだ表示が出る場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

現象	予測される故障
燃焼確認窓が「すす」で汚れて炎が見えにくい。	燃焼が不完全になっているおそれがあります。
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	異常着火検知装置が作動し、運転を停止します。運転スイッチを「入」にしても再運転できません。機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	排ガスが漏れているおそれがあります。 ●排ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。

部品交換のしかた

経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者〔財団法人日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または技術講習会修了者(点検整備士)〕が修理いたします。不完全な修理は危険です。

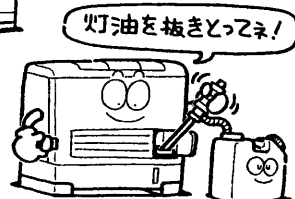
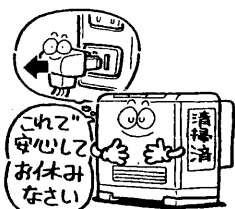
消耗、劣化しやすい部品

項目	内容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング呼びP34(JIS B2401 4種D)、点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
環境により劣化しやすい部品	給排気系部品、電気接点部品など
不良灯油を使用されて劣化しやすい部品	バーナー、電磁ポンプ、燃焼系部品

保管(長期間使用しない場合)

長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ストーブ外装、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。(24ページ参照)
3. 加湿皿を引出して水を捨て、清掃して元の位置へ押込んでください。
4. 油タンクに残った灯油を注油ポンプで抜きとってください。
5. ストーブ内部の清掃は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
6. ストーブは据付けたまま保管してください。

- どうしても取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
  次シーズンに据付けるときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。

仕様

形式の呼び		VKB-601CTD		VKB-451CTD	
種類		気化式・強制対流形・強制給排気形			
点火方式		高圧放電点火・自動点火			
燃料		灯油(JIS 1号灯油)			
暖房出力		22600kJ/h(5400kcal/h),6.28kW		17710kJ/h(4230kcal/h),4.92kW	
発熱量および熱効率	最大	23800kJ/h(5685kcal/h) 95%		18630kJ/h(4450kcal/h) 95%	
	最小	11040kJ/h(2640kcal/h) 91%		8620kJ/h(2060kcal/h) 91%	
燃料消費量	最大/最小	0.69/0.32ℓ/h		0.54/0.25ℓ/h	
油タンク容量		7.5ℓ			
暖房のめやす	温暖地	木造16畳(26.5㎡)まで	コンクリート22畳(36.5㎡)まで	木造13畳(21.5㎡)まで	コンクリート17畳(28.0㎡)まで
	寒冷地	木造17畳(28.0㎡)まで	コンクリート26畳(43.0㎡)まで	木造13畳(21.5㎡)まで	コンクリート21畳(35.0㎡)まで
外形寸法(置台を含む)		高さ600mm、幅780mm、奥行231mm			
質量		29.5kg		29kg	
電源電圧および周波数		100V 50/60Hz			
定格消費電力	点火時消費電力	545/545W			
	最大消費電力	565/565W			
	燃焼時消費電力	143/141W		80/82W	
給排気筒呼び径		D34			
給排気筒壁貫通部孔径		65mm			
排気温度		260℃以下			
加湿器	能力	125mℓ/h			
	タンク容量	1200mℓ			
電流ヒューズ		10A・100V 3A・100V			
温度ヒューズ		192℃		172℃	
安全装置		対震自動消火装置、過熱防止装置、点火安全装置、燃焼制御装置、停電安全装置			
その他の装置		異常過熱防止装置、異常着火検知装置、排気筒外れ検知装置			
付属品		●置台 1個 ●給排気筒トップ取付ネジ 皿ネジ3本 ●室内傾斜フランジ 1個 ●絶縁パイプ 1個 ●室外傾斜フランジ 1個 ●トップフード 1個 ●フランジナット 1個 ●壁離隔板 1個	●室内傾斜フランジ取付ネジ 木ネジ3本 ●給気ホースバンド 1個 ●コードバンド 2本 ●壁固定部品 2個 ●床固定金具 2個 ●床固定取付ネジ(タッピン4×8) 2本 ●壁離隔板取付ネジ 1本	●固定金具取付ネジ 木ネジ4本 ●固定金具取付びょう(畳用) 2本 ●補助パイプ 1本 ●延長補助パイプ 1本 ●補助背面カバー 1組 ●C形ストッパー 3個(1個は給排気筒トップに取付けてあります)	

アフターサービス

保証書（別に添付してあります）

★保証書は販売店から必ずお受けとりください。
★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
　販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。
★保証期間はお買い上げ日から本体は１年間です。ただし、燃焼器部分は３年間です。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(27ページ参照)に従って調べていただきなおらないときには、次の処置をしてください。

●保証期間中は…

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。
〈連絡していただきたい内容〉
- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●製品名・形名・お買い上げ日
- ●故障または異常の内容
  できるだけ詳しく〔表示部のエラーモード(故障・異常状態)数字など)お知らせください。
- ●訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは…

お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機サービスセンターにご相談ください。

転居や設置場所の変更

増改築や転居・移設などによる取外しおよび再設置は、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表参照。)へご相談ください。
- ●転居先の設置条件(設置場所の標高・給排気工事の条件)に合わせて、調節ボリュームをセットする必要があります。ご不明な場合は最寄りの三菱電機サービスセンターにご相談ください。
- ●ストーブを一端外され、再使用されるときは、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)はすべて交換します。

補修用性能部品の最低保有期間

密閉式石油ストーブの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後７年です。
- ●この期間は通商産業省の指導によるものです。
- ●性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表をご覧ください。)にお問い合わせください。

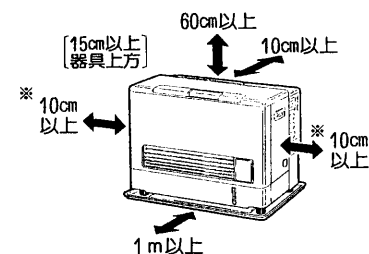
据付け工事の確認と試運転

据付け場所の選定

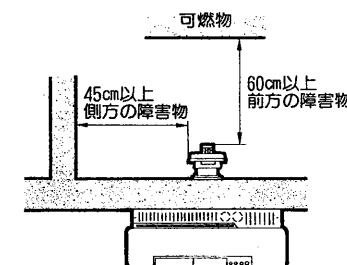
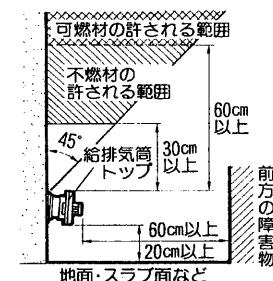
ストーブの据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付け工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

- ●電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。
- ●積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。
  また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがありますので、注意してください。
- ●厳寒地域では給排気筒トップにつららがつくことがありますので注意してください。

標準据付け例（ストーブと周囲との距離）

ストーブを据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準(財団法人日本石油燃焼機器保守協会)で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

※〔　〕内寸法で据付ける場合は、点検手入れのため左右いずれかは30cm以上離してください。

●上図〔　〕内寸法による据付け寸法は、防火性能評定委員会で評定承認されたものです。

上方	側方	前方	後方
15cm	10cm	1m	10cm

据付け工事後の確認

据付け工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
ストーブ	ストーブ回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	
	ストーブが固定してありますか。	
	ストーブの周囲には可燃物・障害物はありませんか。	
	電源コードは排気筒に触れていませんか。	
	油タンクおよび本体から油漏れはありませんか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	給排気筒の外れ・ゆるみがありませんか。	
	排ガスは屋外へ排気されていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向かって下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	トップフードが必ず取付けられていますか。	
	トップフードの給気口から燃焼用空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
	トップフードの排気穴より排ガスが出ていますか。	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
延長工事	床下・天井裏への給排気はしてありませんか。	
	給気ホースと排気筒の長さはほぼ同じになっていますか。	
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるような下向き傾斜はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は1.8m以下になっていますか。	
排気筒外れ検知リード	排気筒外れ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒外れ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがあり危険です。販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試 運 転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

運転準備

- 給油ドアーを開け油タンクに給油してください。(9ページ参照)
- 置台などに油漏れ・油のにじみがないか確認してください。
- 電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。また、差込みが十分か確認してください。

運 転

■運転開始と停止の手順

①運転スイッチを押して「入」にします。
運転ランプが点灯し、数分後に燃焼を開始し、温風が出ます。その状態で約15分間運転して異常表示等が出ないか確認してください。

②再度運転スイッチを押して「切」にします。
運転ランプが消灯し、運転が停止します。

ご注意!

- 室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには調節ツマミを右へ360°以上回すと設定温度表示が「H」となり、最大燃焼量で連続運転を行います。
- 連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、調節ツマミを左に回せば解除されます。

■初期運転時の異常現象

- 初期運転時、および燃料切れの最初の運転の際にボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
- 温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常で異常ではありません。部屋の換気をしながらご使用ください。

■正常運転の目安

- 正常運転の目安として27ページのような現象がないことを確認ください。

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

●クリーンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。	●排気パイプがはずれている。 ●臭いがしたり、目がチカチカする。 ●本体後部の壁がススで汚れている。 ●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。 ●点火しない。使用中炎がたびたび消える。 ●運転中に「ボーン」という大きな音がする。 ●その他の異常・故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に修理・点検をご相談ください。

形名	
お買い上げ年月日	
お買い上げ店名 （住所） （電話番号）	（　　　）＿＿＿＿＿＿

三菱電機株式会社

〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3（三菱電機ビル）

9303A㊥R
588HA8301